

IBM BladeCenter Open Fabric Manager/IBM Fabric Manager

ご利用環境におけるアドバンスト管理モジュールの交換作業について

【概要】

IBM BladeCenter 環境でアドバンスト管理モジュール（以下、AMM）を冗長化している場合、プライマリ AMM とスタンバイ AMM を同一シャーシに搭載するだけで、ファームウェアや大部分のシャーシ構成情報の同期は行いますが、IBM BladeCenter Open Fabric Manager(以下、BOFM)/IBM Fabric Manager(以下、IFM)をご利用の環境で、仮想アドレス構成情報（以下、OFM 構成）を同期させるためには、追加の作業が必要となります。AMM を交換する際は、以下の「対応策」の内容を実施いただくようお願いいたします。

※AMM ファームウェアレベルによって対応方法が異なりますので、お使いの AMM ファームウェアレベルの箇所をご確認ください。

【対象構成】

下記のいずれかの IBM BladeCenter シャーシの構成で、IBM BladeCenter Open Fabric Manager、若しくは IBM Fabric Manager を使用している場合

IBM BladeCenter E, 8677 タイプ, 全モデル

IBM BladeCenter H, 8852 タイプ, 全モデル

【対応策】

AMM ファームウェアレベルが AMM3.62 系（BPET62x）およびそれ以前の場合

- 1) スタンバイ AMM を交換します。
- 2) プライマリ AMM からスタンバイ AMM へのファームウェアの同期完了を待ちます。AMM イベントログで確認できます。
- 3) プライマリ AMM からスタンバイ AMM へ手動で Switch Over を実施します。交換した AMM が新しくプライマリとなりシャーシを認識し、自身の OFM 構成がクリアされた後、自動で Switch Back が発生します。

（注意）自動 Switch Back の際に下記のメッセージが記録される場合があります。その場合、次回再起動はブレードサーバーのコールド・リスタート（シャットダウン電源オフ後、2 分以上経過後に電源オン）を実施してください。

Open Fabric Manager configuration mismatch detected between expected configuration and the actual configuration for blade xx. Expected configuration will take affect when blade restarted.

4) 自動 Switch Back 後、プライマリ AMM からスタンバイ AMM (交換した AMM) へシャーシ構成情報および OFM 構成の同期のため、約 1 時間待ちます。(この同期については進捗状況が確認できません)

Retain Tip H123170 「BladeCenter Open Fabric Manager (BOFM) configuration cleared after AMM failover - IBM BladeCenter 」

<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=MIGR-5086717>

Retain Tip H21367 「'BOFM configuration mismatch' error displayed when Blade warm restarts - IBM BladeCenter」

<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=migr-5093169>

AMM ファームウェアレベルが AMM3.64B (BPET64B) あるいは 3.64C (BPET64C) の場合

- 1) AMM web コンソールの MM Control->Configuration Mgmt->Save Configuration to Chassis->Save ボタンを押し、現在の AMM の構成をミッドプレーンへ保存します。
- 2) AMM web コンソールから OFM 構成のバックアップ (csv ファイル) を取得します。IBM Fabric Manager (IFM)あるいは BOFM Adv などに構成情報が保持されている場合はそれらを利用します。
- 3) スタンバイ AMM を交換します。
- 4) プライマリ AMM からスタンバイ AMM へのファームウェアの同期完了を待ちます。AMM イベントログで確認できます。
- 5) プライマリ AMM からスタンバイ AMM へ手動 Switch Over を実施します。交換した AMM が新しくプライマリとなりシャーシを認識し、自身の OFM 構成がクリアされます。AMM イベントログには下記のメッセージがログされます。

New chassis detected, reading configuration from midplane

Open Fabric Manager configuration was cleared, because the AMM was moved to a new chassis or restored to default

(注意) 初回 Switch Over 時の自動 Switch Back は発生しないため、イベントログ記載の通り新プライマリ AMM 上で OFM 構成がクリアされます。そして元のプライマリ AMM へクリアされた OFM 構成の同期を行うため、両方の AMM 上から OFM 構成がクリアされます。そのため、次項 6)で OFM 構成の再適用を行います。

- 6) 前項 2)でバックアップした OFM 構成ファイルを、新しくプライマリとなった AMM (交換した AMM) に再適用します。OFM 構成を適用する際の環境に応じて、その後 6-a)、もしくは、6-b) いずれかの対応を取ります。

6-a) Force update をする場合(Blade サーバーの電源を上げたまま OFM 構成を強制適用する場合)、AMM イベントログには下記のメッセージが出るため、次回再起動はブレードサーバーの Cold Restart (シャットダウン電源オフ後、2 分以上経過後に電源オン) を実施してください。

Open Fabric Manager configuration mismatch detected between expected configuration and the actual configuration for blade xx. Expected configuration will take affect when blade restarted.

6-b) 仮想アドレスを使用するブレードサーバーの電源を落とした状態で OFM 構成を再適用する場合は、特にブレードサーバー側で対応は必要ありません。適用後、ブレードサーバーを起動させます。

AMM ファームウェアレベルが AMM3.64G (BPET64G) の場合

1) AMM web コンソールの MM Control->Configuration Mgmt->Save Configuration to Chassis->Save ボタンを押し、現在の AMM の構成を midplane へ保存します。

2) スタンバイ AMM を交換します。

3) プライマリ AMM からスタンバイ AMM へのファームウェアの同期完了を待ちます。OFM 構成の同期も行われます。ファームウェアの同期後 30 分ほど待ちます。

4) プライマリ AMM からスタンバイ AMM へ手動 Switch Over を実施します。交換した AMM が新しくプライマリとなりシャーンを認識します。その際以下のログが記録されます。

New chassis detected, reading configuration from midplane

以上

免責

当内容は、お客様、販売店様、その他関係者が、System x, Flex System などを活用することを目的として作成しました。

詳細につきましては、URL (<http://www.lenovo.com/legal/jp/ja/>)の利用条件をご参照ください。

当技術資料に含まれるレノボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社および Lenovo Enterprise Solutions (以下総称して、LES) 以外の製品に関する情報は、各提供ベンダーより提供されたものであり、LES はその正確性または完全性についてはいかなる責任も負いません。

当技術資料の個々の項目は、LES にて検証されていますが、お客様の環境において全く同一または同様な結果が得られる保証はありません。お客様の環境、その他の要因によって異なる場合があります。お客様自身の環境にこれらの技術を適用される場合は、お客様自身の責任と費用において行なっていただきますようお願いいたします。

2015 レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社